

Gender Equality Index



salesforce

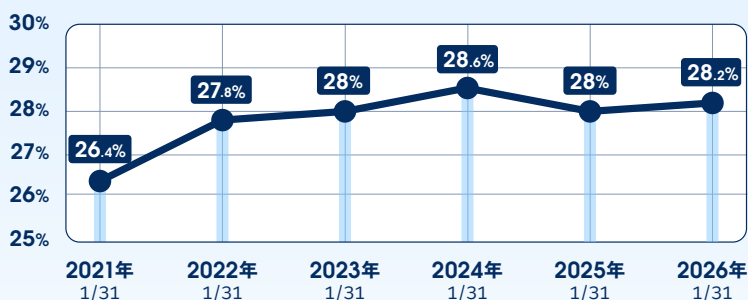
平等（イクオリティ）はSalesforceが大切にしている価値観（コアバリュー）の1つです。ビジネスは社会を変えるための最良のプラットフォームであり、あらゆる人にとって平等な社会を築いていくことは、私たちの責務であると考えています。私たちは、社会の多様なコミュニティを反映し、誰もがその存在を認められ、耳を傾けてもらい、自分の価値が尊重され、成功するために力を与えられていると感じられる職場づくりのために現状を分析し、行動計画を策定し、その推進に努めています。

① 女性従業員・管理職の割合

Equality for All ～ すべての人に平等を ～ の実現を目指し、誰もが自分らしく生き生きと働ける環境整備と能力開発、キャリア開発につながる行動計画を実行しています。

18%

女性管理職比率



※年度末の全従業員に対して、Women、Unknownを選択した従業員の割合を算出

② 男女の賃金差異

※男性を100%とした時の女性の給与の割合

賃金の平等は、SalesforceのDNAの中核を成すものです。Salesforceでは、社会を反映する職場を構築するため、責任を持って目標を設定し続けています。2015年、Salesforceは、従業員の間で賃金に差異がないかどうかを評価した最初のグローバル企業の一社でした。その後も毎年査定を実施して、全従業員に適正な賃金が支払われているよう調整しています。

全従業員

74.5%

正社員

74.7%

契約社員

110.2%

これは全従業員の賃金を厚生労働省の指定する算定式（総賃金÷人員数）をもとに男女別に集計・平均したものです。要因として、相対的に賃金の高い管理職上位ポジションでの女性比率が低いことが挙げられるため、Salesforceでは、経営陣自らスポンサーを務めるスポンサーシッププログラムなど、女性リーダーを育成する各プログラムを通じて女性のディレクター（部長職相当）を20%以上にする目標を推進しています。

また、契約社員については、各ポジションで求められる専門性によって賃金が異なるため、ジェンダーの差異のみが賃金の差異が生じる要因ではありません。

Senior Director

91.1%

Director

94.8%

Senior Manager

92.5%

Manager

90.3%

Position別

Salesforceでは常に業界最高レベルの奨励給制度を維持するよう努めています。Salesforceでは、同じ職位に就く男女の賃金差異の是正に、2015年より取り組んでおり、同一労働同一賃金を推進しています。私たちは、今後も賃金の平等を優先し、賃金の公平性を実現するためにたゆまぬ努力を継続します。

期間：2025年2月1日～2026年1月31日

③ 有給休暇取得率

計画的な有給休暇取得を推奨し、従業員のウェルビーイング（心身の健康）促進を図っています。

期間：2025年2月1日～2026年1月31日

4-1 男性育児休業取得率

Salesforceは家族の大切さを認識し、従業員が家族と充実した時間を過ごすことができるように努めています。

※男性従業員のSalesforce所定グローバル育児休暇取得者含む

4-2 女性育児休業取得率

※日本政府の報告要件に合わせるため、本ウェブサイトのデータでは従来の男性・女性の性別分類を使用しています。Salesforceは、性的自認が二者択一ではないことを深く尊重しています。男性・女性の二択にて報告することは、本件に対する当社の立場を表明するものではありません。

75.8%

78.1%

100%